



JFVSS Newsletter

難関レジデント制度

早いもので2014年も終わりに差し掛かり、フォートコリンズに住み始めて1年半くらいになりました。基本的にウィンタースポーツにそんな興味のない自分は冬は苦痛でしかないんですが、今年は去年に比べて暖かくて大変過ごしやすく助かっています。診療に参加するようになってさらに時間が経つのは早いのですが、こちらでの臨床生活にも少しずつ慣れてきて、1日にこなせる症例数も増えてきました。感染症に対する苦手意識も少し薄れてきて、やはり実際に症例を経験すると覚えるのが早いですね。レプトスピラはかなり経験させていただきました。

この時期になるとこちらでは専門医を目指してレジデントを希望する人達が毎日のように大学見学に訪れるのですが、改めてその光景を目の当たりにするといかにレジデントに入るのが難しいかを再認識させられます。僅かなポジションに対して、インターン制度などをくぐり抜けてきた優秀な希望者がたくさんいて、倍率が高くて大変というのは勿論なんですけど、その他にも選考に当たって人間関係やらタイミングも絡んできて、このポジションを外国人で取るのは本当に奇跡的だと実感させられます。自分も以前レジデントプログラムに応募して惨敗した経験がありますが、今思うといろいろな面で足りないところがあって落ちて当たり前の結果であったと痛感させられます。それを考えるとJFVSSは非常に貴重なチャンスを提供してくれる大変有り難いプログラムであると再認識させられ、ご協力してくださっているスポンサーおよび発起人の理事の先生方に対して頭が下がる思いです。ただ、JFVSSで来たからといってこちらでのレジデント生活を甘くしてくれるかといったら当然そんな訳も無く、他のレジデントに負けないよう今後も頑張っていきます。

佐藤 雅彦

